

学校での食育の取組について

2023湖っ子食育大賞の紹介

県教育委員会では、学校の特色を生かした食育に取り組み、他の地域においても食育活動を推進する上で参考となるような取組を募集し、優秀な取組を「湖っ子食育大賞」として表彰しています。令和5年度の受賞校を紹介します。

大賞 高島市立本庄小学校

優秀賞 県立盲学校
長浜市立速水小学校
大津市立仰木小学校
日野町立桜谷小学校

大賞の高島市立本庄小学校では、「湖魚のおいしさを知り、琵琶湖の恵みに感謝しよう!」をテーマに、地域の方の協力のもと漁業体験や料理体験を取り入れた食育を学校全体で推進されています。

優秀校でもタブレット端末を活用した授業や動画教材を作成し指導を行うなど、ICTを積極的に活用した食育が行われています。



滋賀県では、学校を中心に家庭・地域が連携した食育を推進しています。

問合せ先 保健体育課 ☎077-528-4614

その香り 困っている人もいます

柔軟剤の香りで頭痛や吐き気がするなど香りの感じ方には個人差があり、自分にとって快適な香りでも、不快に感じる人がいることにご配慮をお願いします。

学校等で共用して使用する物(給食のエプロンなど)の洗濯の際には香りの強い洗剤の使用を控えていただくなどの配慮も考えられますのでご理解、ご協力をお願いします。



問合せ先 保健体育課 ☎077-528-4614

ホールの子事業 びわ湖ホール音楽会へ出かけよう!

滋賀県では、県内の小学校および特別支援学校等の児童・生徒を対象に、舞台芸術への関心を高め、豊かな心や感受性を育むことを目指して、びわ湖ホール音楽アンサンブルとオーケストラによる音楽公演「ホールの子」事業を平成23年度からびわ湖ホールで開催しています。

令和5年度は、過去最多の173校から10,049人の子どもたちが参加しました。コロナ禍で控えていた「みんなで歌おう♪」が4年ぶりに復活し、大ホール全体に子どもたちの明るく元気な「翼をください」が響き渡りました。

令和6年度は5月29日(水)~31日(金)、6月4日(火)~6日(木)の6日間12公演を実施予定です。

また、6月1日(土)には同じプログラムでの一般公演(有料)を実施します!

滋賀県が誇る本物の体験をぜひご家族で体感してください!

「ホールの子」事業の様子は「テレビ滋賀プラスワン」で放送され、滋賀県公式YouTubeチャンネルに掲載されています。

右の二次元コードからぜひご覧ください!



問合せ先 文化芸術振興課 ☎077-528-3345

新学年をスタートした子どもたち

子どもたちは、期待と不安のなかで新たな学校生活をスタートしています。頑張っている時だからこそ、うまくいかないと感じると、日常生活の中で「食欲が落ちる」「朝起きづらくなる」「表情がさえない」など心身の不調を起こしやすくなります。

ご家庭では子どもから話ができるような雰囲気・環境づくりを

- ▶ 子どもから話し始めるのをゆっくりと待ってみましょう。
- ▶ 子どもの話は、否定をしないで、じっくりと聞きましょう。
- ▶ 1日をねぎらい、一緒に食事やおやつを楽しみましょう。

～気になることがあれば早めに学校や相談機関にご相談を～

問合せ先 滋賀県心の教育相談センター ☎077-586-8125



今回の『おすすめ本』

べんきょうにあきたトムが教室でまどの外を見ながら、きょうの給食はなにかなとかんがえていたとき、トムの目にとびこんできたのは、なんと、きょうりゅうだったのです。やがて教室に入ってきたきょうりゅうは…。

小学校1~3年向け

「きょうりゅうが学校にやってきた」

アン・フォーサイス 作
熊谷鉦司 訳 むかいながまさ 絵 金の星社



子ども読書啓発冊子「ほんがいっぱい たのしさいっぱい」からの抜粋です。もっといろいろな本を知りたい方は「におねっと」に掲載しているデジタル版をご覧ください。



「におねっと」子ども読書活動支援センターのページはこちら

問合せ先

生涯学習課 ☎077-528-4652

過去のシリーズ人権教育は、



問合せ先 人権教育課 ☎077-528-4592

後日、娘が「お父さんに話そうと思う前に質問されたり、でも…って話を遮って意見されたりするのが嫌だ。」と妻に話していたことを聞き、独りよがりだったと反省しました。そして、「上靴洗い」の時間は、娘のペースで話したいことを話す時間にするので、私が伝えたいことがある時は、別の機会に話すことを娘と約束しました。

上靴を洗いながらなので、会話が続きなくても過ごせましたし、たくさん話したいことがある時は、そのまま散歩や買い物に行きながら話の続きを聴きました。

娘が中学生になると、上靴を持ち帰る機会は減りました。その代わりに、塾から家までの車の中で一緒に過ごす時間が、娘の話を聴く時間になりました。時には、成績や受験、スマホの使い方、お互いの考えがぶつかることもありましたが、まずは娘の思いを聴くことを大切にしました。

思春期になると会話がなくなるのではと心配していたのですが、高校生になった今でも、学校や友だちのことを時々、自分の話したいタイミングで話をしてくれます。

これからも、子どもの思いを聴く時間を短時間でも大切にしたいと思っています。

シリーズ 人権教育

「上靴洗い」

